

会長あいさつ



会長 高橋 博貴（兵庫中央病院）

平素は国立病院理学療法士協議会 近畿部会の活動にご協力いただきありがとうございます。

この原稿を書いている時期、新型コロナウイルスの多くがオミクロン株に換わり、各地域で蔓延防止等重点措置が施行され、各施設でも感染の対応に追われているものと推察いたします。

当会ではこの2年程Webを用いて会議・研修会などの運営を行い、非常に便利になった点もありますが、過去の活動で恒例だった会員間での親睦の部分が大きく抜けている事大変危惧しております。人と人とのコミュニケーションにおいて直接会いお互い

空気感を感じる事で信頼が生まれ、直接で無いと伝わらない話もあり、その様な場において本音の話が出来る事も多々あります。早くこの感染症が落ち着き、懇親会など対面で皆さんと意見を酌み交わすようになりたいと切望しております。

今期の近畿部会活動の方向性は昨年同様、会員の為に様々な還元ができるよう役員・各局部員でアップグレードしながら運営していきたいと思っております。

ここで、皆さん既にご存じかと思いますが、改めて近畿部会の目的に現在及び今後の活動がどのように関連するかお伝えいたします。

協議会の目的は①理学療法の質の向上、②理学療法士の地位向上、③相互の親睦をはかる事を目的としています。

①質の向上は學術局活動で新人・プリセプターなどの教育、企画運営局の研修で知識・技術の向上、社会局から提案・情報共有することで、役職者の質向上にもつながります。主任会活動も主任の質向上および各施設において主任から一般職への教育等の還元につながります。また、事務局活動が近畿部会運営の下支えとなり、多くの会員へ情報提供を担っていることは言うまでもありません。

②の地位向上は、①質の向上が各施設のスタッフで成され各々が活躍することで、施設内や職種間での信頼度が向上し、これは地位の向上と言えると思います。また、①で述べた社会局活動で業務実績等の考察など各士長への情報提供や、士長間の情報共有で平均単位数・加算等の向上により経営基盤確立を図り、これまで各施設の増員や役職者ポストの増加につながりました。これは協議会活動だけでなくグループ専門職の大きな後押し、各士長・スタッフの頑張りによるもので、どれが欠けても進まないと思っております。このような流れも協議会が地位の向上に関与している部分かと思えます。

最後に③相互の親睦については最初に述べた通りで、今後の感染状況にもよりますが、状況が許すならば以前のように懇親会などで皆さんと密な交流を行いたいと思っております。これにより各スタッフがどこの施設に行っても相談出来るスタッフがいる状況となり心強く感じるかと思えます。また、これら協議会の3つの目的は1対1の関係ではなく、それぞれ相互に関連しており、皆さんがこれらを意識し向上させることでNHO・NC全体の発展につながるものと信じております。

最後になりますが、今後も会員の皆様には協議会活動にご理解とご協力の程お願い申し上げます。また、各役職者におかれましても部下とのコミュニケーションの中で協議会の状況や必要性など適宜ご説明いただければ、より協議会活動が円滑になるかと思っておりますのでよろしくお願い致します。

～ 事務局 ～

事務局長 森 将貴（奈良医療センター）



国立理学療法士協議会近畿部会で事務局長を任せていただいております、森です。

現在2期目に入り、私自身協議会の役割が理解できてきたと同時に今まで、如何に身勝手に無関心だったことが恥ずかしくなります。恐らく、会員の殆どがそうなのかもしれません。（そうでない方、すみません。）

構成員は普段の仕事をしながら、学術局、社会局、企画運営局で活動をしております。

事務局はこれらの協議会実務部隊の活動を近畿グループ施設の各理学療法士長へメール配信し、会員の皆様へもHPとLINEでも発信しています。

これからも、会員の皆様にとって有益になるよう、事務局部員全員で知恵を結集し情報発信していきたいと思っております。

今後とも協議会活動にご理解、ご協力宜しくお願いいたします。

～ 学術局 ～

学術局長 山内 芳宣（神戸医療センター）



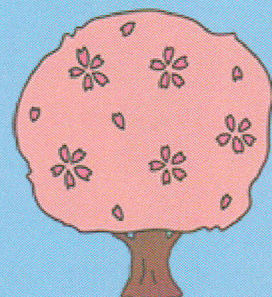
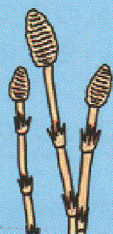
こんにちは、学術局です！

学術局では主に①新人教育に関する事業と②研究支援に関する事業を行っています。

①新人教育事業ではこれまで、マニュアルやチェックシートを作成し、その回収と分析を行ってきました。また、新人やプリセプターを対象とした研修を開催し、新人教育のサポートを行っています。今期は新人教育に関する研修会を、外部講師を招請し開催する予定です（7月頃予定）。また来年度より、チェックシートの活用を「3年目までの新人」に拡大いたします。これまでよりもなお一層、継続した新人教育につなげていけるように会員の皆様のご協力をお願いいたします。

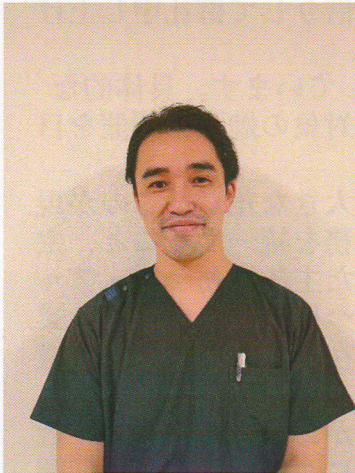
②研究支援部ではこれまで研究活動の経験がない会員に対して、研究のデザインや進め方などについて支援を行う事業を行って参りました。今期は東近江総合医療センターを受援施設として、継続して学会発表までのサポートを行っていく予定です。

学術局の活動につきましてご意見などございましたら、ぜひお寄せください。よろしくお願いいたします！



～ 社会局 ～

社会局長代行 岡田 直秀（京都医療センター）



社会局は、経営改善部と診療報酬・監査対策部の2部で活動しています。

経営改善部では、主に近畿管内各施設の実績集計・管理を担当しています。第5期までは社会局独自の集計表を用いて実績管理しておりましたが、第6期からは方法を変更し、理学療法専門職と可能な範囲で協力しながら、より分析に力を入れ各施設の経営改善の一助となる活動ができないか、現在検討中です。

診療報酬・監査対策部では、来る2022年度の診療報酬改定に向けた情報発信を現在積極的に行っています。また、コロナ禍で滞っている適時調査などに迅速に対応していけるように活動していく方針です。

今期は局長代行という形ではありますが、新体制のもと社会局がスタートしました。今まで以上に各施設の実情に即した経営改善のお手伝い・情報発信をしていくと共に、より会員の皆様へ有益な活動ができるよう努めてまいります。

社会局の活動は各職場長をはじめとした会員の皆様の協力なくしては決して進みません。今後とも社会局の活動にご協力をよろしくお願い致します。

～ 企画運営局 ～

企画運営局長 平岡 尚敬（敦賀医療センター）



「心不全のある整形患者を担当しているけど、リスク管理は十分かな?」、「神経難病のある患者を担当しているけど、もっと工夫できるところは無いかな?」など臨床場面で様々な疑問に直面され、研修会・書籍・先輩などから情報を得て対応されているかと思います。このようなときに、心疾患・神経難病について多くの経験があり、専門的な知識を有する理学療法士（以下、専門家）の臨床を見学することは問題解決、スキルアップの一助となるのではないのでしょうか。国立病院理学療法士協議会近畿部会に所属するNHO・NCには、役割・特色の異なる21の施設（うち20施設に理学療法士が在籍）があり、様々な分野における専門家が在籍しています。企画運営局では、COVID-19が落ち着き次第、専門家の臨床場面が見学できる施設見学研修を準備しております。是非利用して頂ければと思います。また役職者の役割についても悩まれている会員が多いと聞いております。役職者が、他施設の管理業務を見学することにより、役割の明確化・経営改善の取り組みのヒントを得るような、役職者対象の施設見学研修についても計画中です。5月に予定している『役職者の役割』の研修会と併せて活用して頂ければと思います。

企画運営局では、引き続き会員の質向上につながる取り組みを行っていきたいと考えております。また研修会などについて建設的な要望がございましたら、協議会HPの【ご意見箱】まで宜しくお願い致します。

～ 主任会 ～

代表 増田 圭亮（京都医療センター）



近畿理学療法士協議会会員の皆様、平素より主任会の活動にご理解賜りましてありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、主任会では今期の活動目標を2つ設定しています。具体的な内容は、①主任業務マニュアルの作成、②主任対象の勉強会開催を目標にしています。

①については、施設により主任業務の内容に大きな差があるのが現状です。主任会として各施設で具体的な共通業務を統一すること、主任としてどのような姿勢で業務に臨むかを含めた主任業務マニュアルの作成を進めています。これは主任業務を決めつけるのではなく、業務内容を明確にした上で各施設の状況により現在担っている業務は継続して実施すると捉えていただければ幸いです。

②については、主任のみを対象とした勉強会がありません。また近年、主任枠の急激な増加に伴い主任という役職について、さらに理解を深めたいという主任会会員の強い希望もあり実現したいと考えています。主任の質をさらに向上することで協議会会員皆様の業務にも還元されると考えています。是非とも会員皆様の御協力をお願いいたします。

以上2項目を主任会の今期の目標として活動しています。また、これまで同様に主任間の交流も継続して続けていきたいと考えています。

研修会予定

日 時：令和4年2月25日（金）
テーマ：災害現場で求められるセラピストの支援活動
講 師：尾谷 寛隆 理学療法士長
（大阪刀根山医療センター）
対 象：全会員
主 催：企画運営局

日 時：令和4年3月
テーマ：令和4年度新人教育について
講 師：学術局
対 象：各施設教育担当者・プリセプター
主 催：学術局

日 時：令和4年5月
テーマ：役職者の役割について
講 師：上野 俊之 理学療法士長
（京都医療センター）
岡田 直秀 副理学療法士長
（京都医療センター）
今中 辰茂 主任理学療法士
（京都医療センター）
対 象：役職者（一般は録画配信）
主 催：企画運営局

日 時：令和4年6月
テーマ：協議会の運営について
講 師：理学療法士協議会近畿部会 会長
作業療法士協議会近畿部会 会長
言語聴覚士協議会近畿部会 会長
対 象：理学療法士、作業療法士、
言語聴覚士 新採用者
主 催：理学療法士協議会近畿部会
作業療法士協議会近畿部会
言語聴覚士協議会近畿部会

研修会予定

日 時：令和4年6月
 テーマ：経営改善に関する研修（検討中）
 講 師：社会局
 対 象：全会員
 主 催：社会局

日 時：令和4年7月15日（金）
 テーマ：理学療法士にとって必要な教育心理学の基礎知識
 講 師：静間 久晴 先生
 （京都医健専門学校）
 対 象：全会員
 主 催：企画運営局

日 時：令和4年9月
 テーマ：新採用者合同ミーティング
 講 師：学術局
 対 象：新採用者（1-2年目）
 主 催：学術局

国立病院理学療法士協議会の ホームページをご存じですか？

近畿部会のページがあります
 会員専用→『パスワード:PTkyougikai』→近畿

様々な情報を発信していきます。
 アクセスをお願いします。

<https://www.kokuritsu-pt.website/>



国立病院理学療法士協議会



国立病院理学療法士協議会近畿部会 事務局 広報部



信楽焼のタヌキ(バレンタインVer.)
 (信楽駅前)

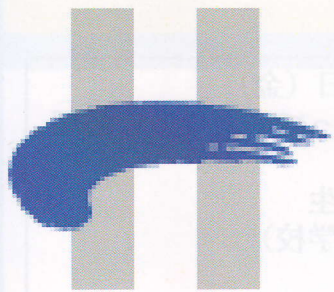
*****編集後記*****

いよいよNHO理学療法士協議会近畿部会の会報誌が刊行となりました。ご協力いただきました関係各署の皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。事務局局員一同、不慣れな作業でしたので、見にくいところもあるかと思いますが、何卒ご容赦のほどお願いいたします。少しずつブラッシュアップして、カッコ良くしていけたらと思います。

誌名の「partner（パートナー）」は、会員同士は仲間、さらには協議会は会員に寄り添う協力者でありたいという願いを込めて名付けられました。最近特に協議会の情報を会員の皆様到的確にお伝えする必要性を、つくづく感じております。できるだけ皆様にとって有益な情報を掲載し、また協議会が身近な存在でいられるよう、尽力いたしますのでよろしくお願いいたします。

先日、とある本で「言葉によって伝えられるメッセージは35%」という文をみました。さらに9種類の「ことばならざることば」というものがあり、それは①人体があらわすメッセージ（性別、年齢、肌の色など各人の持つ特徴）②動作③アイコンタクトや目つきを含む目④周辺言語（声の質や音程など）⑤沈黙⑥身体接触⑦対人的空間（人と人との物理的な距離）⑧時間⑨色彩、だそうです（諸説あり）。コロナ禍でほとんどの研修会、会議がWeb開催となり、効率歴な運営が可能となった反面、話をする側、聞く側の両面から物足りなさを感じ、「ことばならざることば」の重要性を痛感しております。早く皆様と密な交流ができるようになることを切に願っております。

事務局総務部部长 山本 誠（紫香楽病院）



独立行政法人

国立病院機構

National Hospital Organization

国立理学療法士協議会近畿部会公式LINEアカウントを作成しております。
まだ登録されていない方は、IDまたはQRコードより友だち追加をよろしくお願い致します。

ID : @101wdwhe

QR



※留意点

- ・退職された場合には退会をお願いいたします。
- ・登録いただいた場合でもお互いのアカウントはわかりませんので、ご安心ください。
- ・本アカウントは送信専用となっており、メッセージをいただいても返信致し兼ねますので、ご理解ください。



発行：令和4年3月4日

事務局：大阪医療センター

リハビリテーション科内

〒540-0006

大阪府中央区法円坂2-1-14